令和４年度分　指定管理者モニタリング評価シート

施設名称	スポーツパークまつばら
所在地	松原市三宅西７丁目１０４０番１
事業内容 （設置目的）	市民の地域コミュニティの形成及び市民スポーツの振興を図る
所管部課	都市整備部　みち・みどり整備課
指定管理期間	令和２年４月１日から令和７年３月３１日まで
指定管理者	ミズノグループ
指定管理料	

評価項目	評価の基準	評価	
		指定管理者	担当課
市民の利便性向上について	市民へ平等利用の確保が行われたか。	A	A
	個人情報保護のための措置は適切に行われたか。	A	A
	苦情への対応及び防止策は適切に行われたか。	A	A
	利用者ニーズの把握に努め、サービス向上の取組が行われたか。	B	B
	施設の利用率（利用者数・稼働率）は昨年度と比べ上昇したか。	B	B
適正な施設管理運営について	施設、設備の保守・点検は適切に行われたか。	B	B
	備品の管理は適切に行われたか。	A	A
	職員の人員配置は適切に行われたか。	A	B
	職員の指導育成、研修体制は十分にされたか。	A	A
	日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の危機管理体制が十分であったか。	A	A
	管理運営経費縮減への取組の方策は適切に行われたか。	A	A
	自主事業について創意工夫がなされているか。	B	B
指定管理者の経理について	収支計画と収支実績に乖離はなかったか。	A	A
	経営状況は良好であるか。（貸借対照表等による）	A	A

〈評価〉　A：優れている　　B：問題ない　　C:改善を要する又は改善を指示

評価コメント
1.【市民の利便性向上について】
①市民の平等利用については、WEB予約、電話・フロントの予約受付も行い、誰もが利用できるようにしている。また、広報まつばらへの掲載、リーフレットのリニューアルを行い他のミズノグループ管理施設、近隣店舗への設置等、施設利用者や一般市民の方への周知活動にも取り組んでいる。
②個人情報保護については、ミズノグループ全体においてプライバシーポリシーを定め運用しており、年2回の研修等も行われ徹底管理されている。
③苦情への対応及び防止策については、早期に対応し、処置内容についても的確である。また、再発防止策の運営研修を全スタッフに実施している。
④利用者ニーズの把握については、本社の専門部署にて分析し、現場スタッフの意見も取り入れて施設の改善を図るノウハウを有している。また、今年度は全利用者対象にWEBを活用したNPSアンケートを実施しており、ミズノグループ管理施設内と比較しても満足度が高い結果となっている。
⑤施設の利用率については、全体として事業計画目標値には及ばなかったが、対前年の施設全体の利用者数は増加（126.9%）している。取組としては、施設利用者への周知や自主事業のフットサルプログラム実施数の増枠等を行った。

2.【適正な施設管理運営について】
①施設・設備の保守・点検については、各施設の設備点検や日常清掃を実施しており、指摘事項発生があれば都度報告及び月次定期報告書に記載している。
②備品の管理については、備品管理台帳を整備している。また、日常メンテナンス表に基づいた管理を実施し、不具合があれば都度報告している。
③人員については、曜日、時間帯により来場者予測を立て、高稼働時には追加人員で対応する等、適切な配置が実施できている。
④職員の指導育成については、計画的に必要な研修が行われ、業務マニュアルが整備されている等適切に実施している。
⑤日常の事故防止などについては、日常点検、巡回確認、注意喚起POPを掲示している。また、怪我や事故が発生した際には、要因を分析し、再発防止策を本部協議を行い職員研修を実施する等の取組を行っている。
⑥管理運営経費縮減への取組の方策については、各社員にPC支給し、オンライン会議や打ち合わせの実施により交通費の縮減に取り組んだ等適切に行われている。
⑦自主事業については、全国のミズノグループ管理施設の自主事業成功事例をシステム管理で全職員に共有、また支配人会議で水平展開できる新規事業を協議する等、工夫されている。

3.【指定管理者の経理について】
財務関係において、異常値等もなく問題ないものと思われる。

【総評】
令和4年度の自主事業については、前年度好評のプログラム「朝練」の拡大により、小学生～中学生のプログラム利用者が増加し、平日午前中の低稼働時間帯の改善に繋がり、利用者のニーズに対応することができた。また、全国のミズノグループ管理施設の自主事業成功事例をシステム管理で全職員に共有、他社の自主事業や催事情報も幅広く収集し活用する等、さらなる改善・発展に取り組んでいる。
施設の周知については、施設リーフレットのリニューアル、施設ポスターを商業施設設置を継続することに加え、SNSの更新頻度を強化し、毎週複数回配信を実施した。施設と自主事業情報や活動報告の配信頻度を向上させたことにより、利用促進に繋がり利用料、自主事業収入共に昨年を上回る結果となったことから、適切な周知を実施することができている。施設管理は問題なく行われており、設備・備品の管理は徹底され、安全安心に施設利用ができる体制がとられている。
施設の利用者数は全体として事業計画目標値には及ばなかったが、収支については事業計画目標値を上回る結果となった。要因としては、自主事業の会員増加やスクールの拡大、職員育成の充実による効率的な人員配置等における管理運営経費の縮減によるものであり、適切な施設管理が実施されている。今後もさらなる利用者ニーズの把握や広報宣伝活動において創意工夫を行い、利用者を増やす取組を継続的に行うよう努められたい。